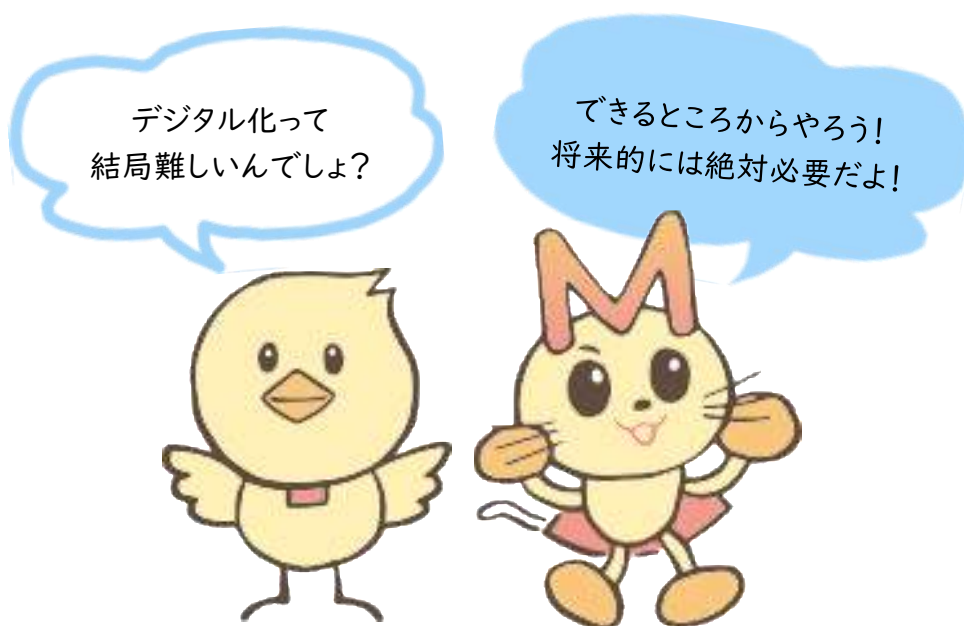


町内会のデジタル化



目次

1 デジタル化とは

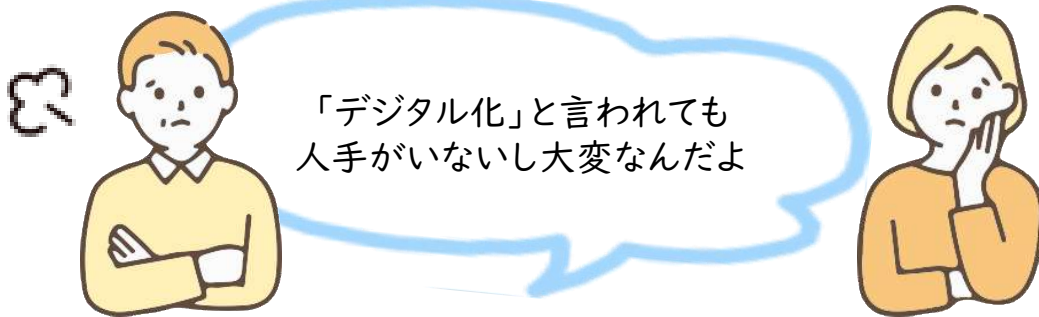
- (1) 町内会のデジタル化とは
- (2) どこから始める？デジタル化

2 いろんなパターンをご紹介

- まずはここから : 町内会の文書をデータ化しよう
- 初級 : 役員でLINEグループを使ってみよう
- 中級 : 情報発信、電子回覧板(SNS/HP/公式LINE)
- 上級 : オンライン会議、電子決済、専用アプリ

◆ 町内会にインタビュー！

札幌市



そうですね。 でもね、ちょっと見てみてください。

たとえば「会計」の業務を引き継ぐとき・・・



たとえば「夏祭り準備のお手伝い募集」をしたとき・・・



AとB、どちらの町内会が、これからもうまく続いていきそうですか?

・・・Bですよ。

やってみると役員の負担軽減、担い手確保にもいきる

この冊子を見ながら、ぜひ一緒に取り組んでみてください。

【冊子のテーマ】

できる、興味のある「デジタル化」を見つけよう

1. デジタル化とは

(1) 町内会のデジタル化とは

自治会
町内会の
デジタル化



文章のデータ化
(wordなど)



役員のコミュニケーションのデジタル化
(メール/ LINEなど)



活動の情報発信のデジタル化
(SNS / LINE公式アカウントなど)



総会などの会議のデジタル化
(zoom /メール/googleフォームなど)



会費等の集金のデジタル化
(振込・電子決済など)

デジタル化の利点

回覧板は見ないで
回してしまう。
町内会って
何をしているの？



日々の仕事が
忙しくて役員になるの
はちょっとなあ...



デジタル化って結局、
難しいんでしょ？



デジタル化をすることで...

回覧板を見ない
若い世代へ情報を
伝えやすくなります。



LINEで届くなら
情報を
目にする！

役員会などに直接出席
できなくても、オンライン
で参加できます。



リモートだったら
会議も
参加できる！

役員同士の連絡や
意思確認が
容易になります。



やってみたら、
今までよりも
楽になった！

(2) どこから始める? デジタル化



まずは
ここから!

実践内容

得られる効果

使用ツール

町内会の文書を
データ化しよう

6

Pへ



スムーズな引継ぎ作業



Word/Excelなど



初級編

役員で
LINEグループを
使ってみよう

7

Pへ



ちょっとした決め事は
集まらずに解決!



LINE



中級編

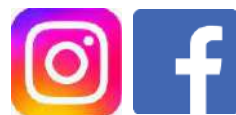
情報を広く
発信しよう

9

Pへ



今まで届かなかった層にも
情報が行き届き参加者UP!



Instagram/Facebook/HP

回覧板を
電子化してみよう
※紙も併用

11

Pへ



LINEでお知らせすれば
情報を見る人も増える!



LINE/書類



上級編

オンラインで会議を
してみよう

14

Pへ



集まらなくても
顔を見て会議ができる



ZOOM

電子決済を
導入してみよう

15

Pへ



町内会費の集金の
手間が省ける!

Paypay/Squareなどの
電子決済サービス

専用アプリを
導入してみよう

16

Pへ



専用アプリで
情報の一元化

専用アプリ

(参考) 主要なSNSのご紹介

SNSとは?

SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス) は、スマホやパソコンを使って人々がつながり、情報を共有するインターネット上のサービスです。

代表的な例としてLINE (ライン)、Facebook (フェイスブック)、Instagram (インスタグラム) などがあります。

写真や動画の共有、グループ活動への参加など、多様な機能を持ち、幅広く活用されています。

■町内会で活用できる主なSNSサービス

ツール名	概要	費用	特徴
LINE公式 アカウント 	登録者に 一斉配信	月200通の 発信まで 無料 (それ以上は 有料5,000円/ 月～)	- 登録者だけに管理者が情報を一斉に配信する - 写真と文章を掲載できる - 全世代が利用している ※「月200通の発信まで無料」に注意! たとえば登録者100人の町内会であれば、月2回の発信まで無料という数え方になります(100人×2回=200通)。世帯数や閲覧回数に応じて検討してね。
Facebook 	町内会名 などで作成 し、ホーム ページの代 わりとして 活用できる	無料	- 写真と文章を掲載できる - 誰でも見られる 40代・50代・60代の利用者が多い
Instagram 	町内会名 で作成	無料	- 写真と文章を掲載できるが、写真が主となる - 誰でも見られる 20代・30代・40代の利用者が多い

POINT

- ・目的やターゲットに応じて、どのSNSが適しているのか判断しよう。
- ・SNSで情報を発信するときは、個人情報などが流出しないように、投稿する前に複数名でチェックすると安心だね!



2. いろんなパターンをご紹介

町内会のデジタル化実践 まずはここから

町内会の文書をデータ化しよう

～導入の仕方～

STEP1

町内会で使える
パソコンやスキャナを
確保しよう



STEP2

回覧物をスキャン
または写真を撮って
データ化する



STEP3

町内会のパソコンに
データを入れて
共有しよう



POINT

- ・どのフォルダに、何を保存しているのか分かるように、フォルダ分けをしよう。
- ・個人情報などのデータにはパスワードを付けて、役員内のみで共有し情報流出を防ごう。



札幌市の制度をご紹介！

町内会デジタル活用促進補助金

円滑な情報共有、地域への積極的な情報発信のためなど、町内会のデジタル活用にかかる環境整備にかかる費用の一部を補助する制度です！

※ 年度によって異なるので、ホームページを確認してね
＜札幌市ホームページ 町内会デジタル活用促進補助金＞



役員でLINEグループを使ってみよう

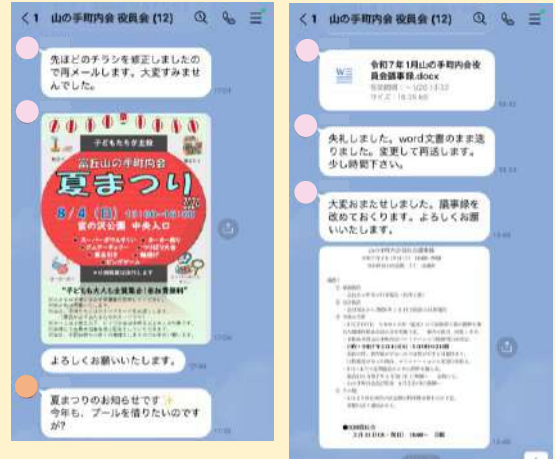
導 入 事 例

まず役員間でLINEを活用！

手稲区富丘山の手町内会

Q. 導入してみて良かったことは？

A. 簡単な質問や確認事項、決め事などは、わざわざ集まる必要がなく、LINE上のやりとりで済ませられるようになり、負担が軽減しました。
PDFやワードファイルなども送れるので、行事のチラシや会議の議事録はグループで共有しています。



～導入の仕方～

STEP1

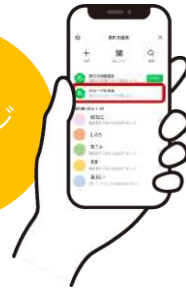
LINE上で
役員同士が
友だちになる



STEP2

役員の誰か一人が
LINEグループを作成し、
他のメンバーを招待する

詳細は
次のページ
で紹介



STEP3

招待された人は
グループに参加して、
自己紹介する

A

●●町内会 ■■
部の○○です。

よろしく
お願いします！

B

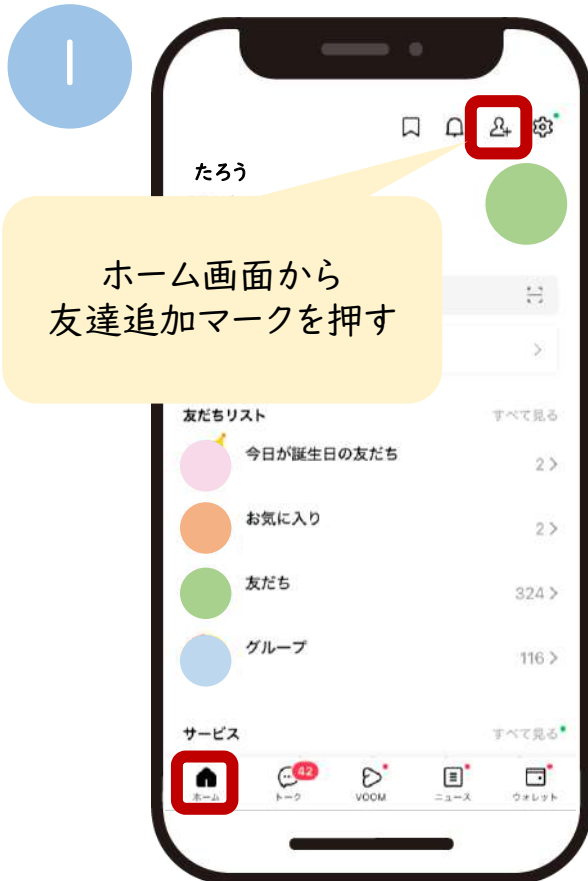
※LINEの登録名が
本名でない場合があり
誰かわからないこともあるため。

POINT

・LINEグループを使って役員の負担が軽減することで、現役世代が町内会運営に参加しやすくなるよ！



(参考) LINEグループの作り方



情報を広く発信しよう ～SNS編～

導 入 事 例

Instagramで情報発信！

厚別区シティアベニュー町内会

Q. なぜInstagramを選んだの？

A. Instagramは、若年層を含め幅広い世代に閲覧されやすく、視覚的に活動の雰囲気を伝えられる点が大きな魅力です。

Q. SNSで情報発信する効果はあった？

A. 近年は、地域企業・団体との協力による事業も多く、「企業や団体が地域に関わっていること」を町内会内外に広く知っていただくきっかけとなり、地域への関心や連携の促進にもつながっています。



～導入の仕方～

STEP1

利用するSNSで町内会アカウントを開設



※メールアドレスが必要です。

STEP2

QRコードやリンクなどを共有することで知ってもらう



STEP3

投稿を作って情報を発信する



月1回更新しよう！

POINT

SNSを通じて情報を発信するときは、以下のポイントに注意しよう！

①プライバシーの保護

個人情報や住所、電話番号などを不用意に公開しない。
他人が写っている場合は、許可をとってから投稿する。

②投稿内容の適切性

他人を不快にさせる内容や差別的な表現を避ける。

③定期的に更新しよう

長い間更新がないと、住民は離れていきます。



情報を広く発信しよう ～ホームページ(HP)編～

導 入 事 例

連合町内会のホームページで単位町内会と一緒に情報発信

中央区幌西地区連合町内会



Q. 導入してみて良かったことは？ (参考) <https://sapporokosai.com/>

A. 連合町内会と単位町内会と一緒に発信することで、住民にとってより身近な情報を発信できます。地区の情報が1つの場所に集まるので、見やすいです。

➡ 詳しくは17ページへ！

～導入の仕方～

STEP1

どんな情報があると良いか、運用ルールを考える



STEP2

業者など詳しい人にHPを作成してもらい公開する



業者だと
最低でも20万円
程度かかるよ

STEP3

投稿を作って
情報を発信する



POINT

- ・見やすいHPをつくるために、定期的にHP運営者で集まって、改善したいことを話し合しましょう。
- ・HPがあることは、行事のチラシなど機会を捉えて周知しましょう。



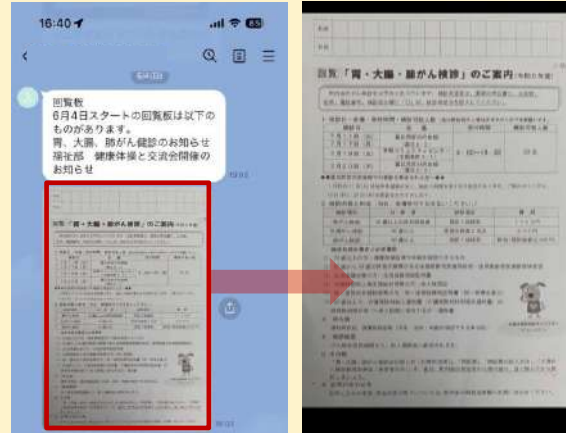
回覧板を電子化してみよう

導入事例

公式LINEで電子回覧板！

Q. 導入してみて良かったことは？

A. 記録がLINE上に残るので、過去のお知らせ情報をさかのぼる事ができます。
共有された画像は、画面上で拡大して読めるので、読みやすい！



～導入の仕方～

STEP1

LINE公式
アカウントの作成



導入
無料

詳しい導入手順は
公式HPから！



STEP2

回覧物をスキャン
または写真を撮って
データ化する



STEP3

町内会LINE公式
アカウントにデータを
載せる



POINT

- ・友達登録者は地道に増やそう。転入時やイベントでチラシを使って直接案内すると効果的。
- ・紙の回覧板を希望する世帯がある場合は、電子回覧板と紙の回覧板を併用しよう。(次ページ参照)
- ・LINE公式アカウントの無料版は月200通が上限です。電子化する情報は取捨選択をしよう。

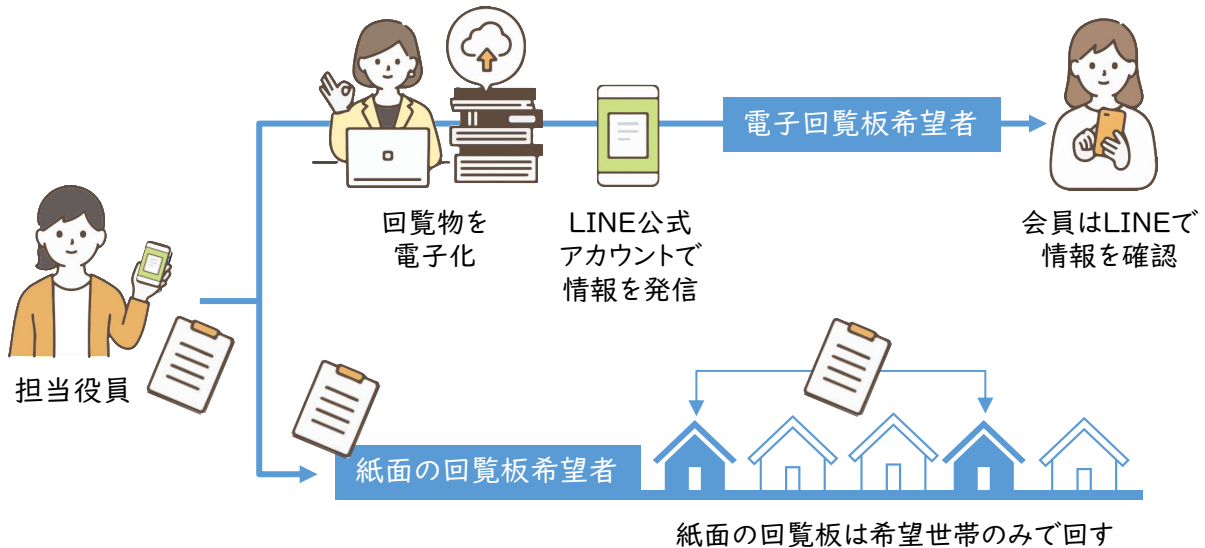
※ たとえば登録者100人の町内会は、月2回の発信までは無料という数え方になります(100人×2回=200通)。写真も1カウントのため要注意！

※ 有料プランもあります(月5,000通までは5,000円/月など)。
料金を負担している町内会もあります。回覧の回数に応じて検討しましょう。



(参考) LINE公式アカウントの活用方法

電子回覧板と紙面回覧板の併用(イメージ)



ホームページを活用したLINE公式アカウントの電子回覧板

- LINE公式アカウントの無料版は月200通の配信上限があることから、お知らせだけを最小限で配信し、回覧はホームページで閲覧してもらう仕組みをとっている町内会もあります。



(参考) LINE公式アカウントの活用方法

LINE公式アカウントでの安否確認

- LINE公式アカウントから、登録している自治会の会員住民あてに確認メッセージを送付できます。
- 受け取った人が、webフォームから安否情報を登録すると、本部の管理画面に自動で反映されます。



東京都主催「町会つながる！ デジタルコンテスト」受賞

東京都日野市南新井自治会

https://www.seikatubunka.metro.tokyo.lg.jp/chokai-digital/award_3.html

LINE公式アカウントのリッチメニュー

(名古屋市守山区上志段味(かみしだみ)自治会)

- LINE公式アカウントのトーク画面下部に固定表示される画像付きのメニュー。
- 画像をタップすると、ホームページや大切な情報へのリンクを設定できます。

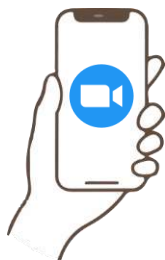


オンラインで会議をしてみよう

～導入の仕方～

STEP1

ZOOM
アカウントの作成



※メールアドレスが
必要です。

STEP2

ZOOMでオンライン
会議を設定し、
アクセスできるリンクを
会議参加者に
共有する



STEP3

参加者はリンクから
オンライン会議に
参加する



POINT

- ・時間と場所を選ばないので、いままでなかなか参加できなかった人も会議に参加するきっかけに！
- ・ZOOMはオンライン会議サービスのなかでも、利用率が78.4%となっており、親しみやすく使いやすいよ！
(NRI 2021オンライン会議ソフト日中比較研究より)



電子決済を導入しよう

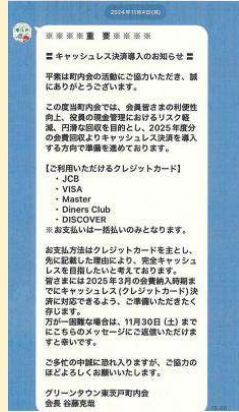
導 入 事 例

スマホで集金をデジタル化！

北区グリーントウン東茨戸町内会

Q. 導入してみて良かったことは？

A. 役員が各々のスマホを持って会員宅をまわり、タッチ決済で集金。電子決済サービスを導入したことで、現金で集金する際の手間や紛失のリスクが軽減しました。領収証も電子発行できるので、事務作業が大幅に削減できました。



➡ 詳しくは19ページへ！

～導入の仕方～

STEP1

決済サービスの
アカウント作成と
各種申請



STEP2

決済サービスの選択
システムの使い方を
学ぶ

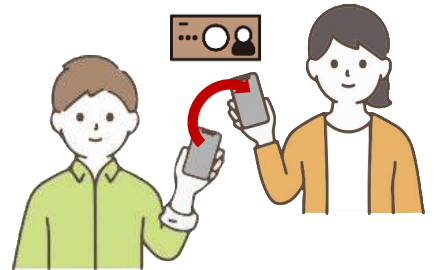
どのカードが
使える？
端末は必要？
支払日は？
手数料は？



分からないときは
カスタマーサービスも
活用しよう！

STEP3

町内会員へお知らせ
をして電子決済を実施



スマホを使ったタッチ決済や
リンク決済で集金

POINT

導入さえしてしまえば、集金にかかる手間が省けて、現金を管理する上で出てくるリスクも削減できる！



町内会・自治会専用アプリを導入してみよう

導入事例

専用アプリで業務を一括デジタル化

手稲区ほしみ町内会

Q. 導入してみて良かったことは？

A. 複数の自治会・町内会アプリを比較検討し、Yumicomを導入しました。講習会を複数回開催し、現在は世帯導入率が約8割に増えています。LINEは心配という方や、80代の世帯も導入しています。年間費用は30万円ほどかかるものの、カレンダー機能、回覧板機能、チャット機能、電子決済機能（3.6%の手数料）などがあり、役員の負担軽減も大きく、導入した価値はあったと感じています。



Yumicomの主な機能

- ・ イベントカレンダー機能
- ・ グループチャット機能
- ・ デジタル回覧板
- ・ 会費集金機能

詳しくは
21ページへ！

～導入の仕方～

STEP1

利用するサービスの
アカウントを作成



Eメッセージ回覧板

※メールアドレスが
必要です。

など

STEP2

サービス内容に
基づいて
活用する機能と
使い方を学ぶ



どんな機能が
ある？
操作方法は？
情報への
アクセス権限は？

STEP3

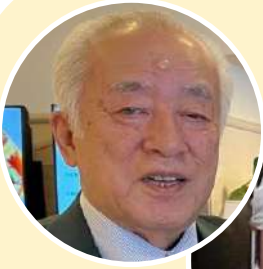
町内会員向けに
導入のための
使い方講座などを
実施する



POINT

サービスによってはこれひとつで回覧板・集金・文書
保管・イベントカレンダーなど、情報を一元化するこ
とができて町内会の活動状況がクリアになるね！





連合町内会がホームページを持ち 単位町内会と一緒に運営！

やってみれば意外と簡単ですよ

中央区幌西地区連合町内会 土井 清純 会長
中央区幌西まちづくりセンター 脇山 秀 所長

Q.連合町内会のホームページはいつできたのですか？

A.令和5年3月にできました。



Q.誰が作ったのですか？

A.専門の業者に委託をして作成しました。



Q.このホームページには何が載っているのですか？

A. イベントのお知らせや回覧板、町内会エリアマップなどを盛り込みました。

Q.このホームページのおすすめやポイントを教えてください！

A. 連町が1つホームページを持って、それを単町も活用して情報発信ができるところです。幌西地区の情報が1つに集約されています。特に「イベント・お知らせ」のページがおすすめです。イベントのチラシ等のデータをホームページに載せるのは簡単なので、すぐにデジタル化ができます。

Q. どうしてホームページを作ることにしたんですか？

A. きっかけは、幌西連町の、50周年記念プロジェクトでした。令和3年度に、幌西地区に住む・働くさまざまな世代を30名程度集めて、「未来につながる取組アイデア」などを3回意見交換しました。令和4年度に、この意見などをもとに、これからのまちづくり活動を行う上での指針をわかち合うための「まちづくりビジョン」を作成しました。ここでは、幌西地区の未来像と、その実現につなげるための5つの目標を設定しました。その目標の1つに、『情報の受発信でつながるまちづくり』をあげ、知って欲しい情報を発信し、知りたい情報がいつでも受け取れるようなホームページを、連町として開設することを決めました。

Q.誰がホームページの記事を更新しているんですか？

- A.各単町にホームページ担当が1名います。若い方から高齢の方まで様々です。うちでは各単町にアカウント(ID・パスワード)を発行しており、各自のパソコンで自由に作業ができるため、各単町のページは各単町の運用にお任せしています。そのほか連町のページは連町で管理しています。

▼ホームページについて話し合う様子

Q.記事の更新は簡単にできるものですか？

- A.慣れれば簡単な記事だと、5分で出来ますよ(笑)
WordPressというシステムを使っており、前の記事を複製できるので時短できます。



Q.費用はいくらですか…？

A. <立ちあげ時>

約130万円でした。なお、これにはより良いホームページにするため複数回開催した「おしゃべり会」や「編集会議」などの運営一式を含んでいます。札幌市の【地域まちづくりビジョンスタートアップ助成金】の補助100万円を受け、連町の負担金額は実質30万円程度でした。

<現在>

立ち上げ後2~3年目は、適宜の改修作業が生じたため、30~50万円かかりました。そのほか、インターネットに接続するため毎年継続的に発生する費用としては、Wi-fi契約費が約5万円(月4千円×12か月)、サーバ維持費用が約3万4千円です。

Q.費用は連町が負担しているのですか？

- A.はい。すべて連町の会計から支出しています。
単町にとっては、実質費用がかからず情報発信できるので、この仕組みは好評です！

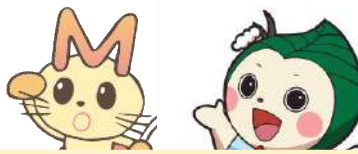


Q.最近もホームページがレベルアップしたと聞きましたが…

- A.令和6年度には、新たに連町関連イベントカレンダーと、町内会行事にご協力いただけるボランティア募集のページを増設しました。

Q.最後に、これからホームページを立ち上げる連町にひとこと！

- A.幅広い世代に町内会の活動を知ってもらうためには有効なツールだと思います。ただ、連町の情報は住民にとって遠く感じることもあるので、連町がホームページを作る際には、うまく単町と連携しながら、単町と一緒に情報発信をすると良いと思います！これは同時に単町の情報発信支援にもなるため、連町の存在価値を高めることにもつながります。
このほか、若い人から高齢者まで、みんなで話し合いながら進めていくことで、ホームページへの思い入れややりがいを持ってもらうことが大切だと思います。



令和7年4月から全世帯で 町内会費のキャッシュレス決済を導入！

札幌市で1番進んでいる町内会を目指してます

北区グリーントウン東茨戸町内会 谷藤 克哉 会長

Q.どんな町内会なんですか？

A. 約160世帯の町内会です。

令和3年、新たに造成された住宅地の誕生後ほどなくして設立されました。現在、20代から30代を中心とした若い世代が多く住んでいます。

Q.町内会費のキャッシュレス決済とは何ですか？

A. 役員のスマホにタッチ決済対応のクレジットカードやスマホをかざすだけで支払うことができます。

対応ブランドは、JCB、VISA、MasterCardなどの主要なカードが含まれています。



Q.どうやって導入したんですか？

A. Square (スクエア) というアプリツールを利用しています。

Q.なぜこのツールを選んだんですか？

A. スマホだけで手続きが完結する点や、カスタマーセンターの丁寧な対応が魅力的でした！

Q.費用や利用申込、大変でしたか？

A. 費用は無料です！

利用申込では、町内会活動の年間スケジュール、規約、役員名簿など、既存の資料を提出するだけなので、それほど手間はかかりません。

まずはアカウントを作成し、約1週間で承認がおりました。

その後はSquareがカードブランド(JCB、VISA、MasterCardなど)ごとに審査を行い、順次利用可能になりました。



Q.利用手数料はひかれてしまう？

A. 基本の手数料は2.5%です。

つまり、1世帯あたりの町内会年会費10,800円に対して、270円が手数料として差し引かれます。

Q.それでもこれを導入したのはなぜでしょう？

A. 過去に他の町内会で、集金した町内会費が紛失・盗難にあった事例を知り、役員の負担や責任を軽減するために導入を決めました。

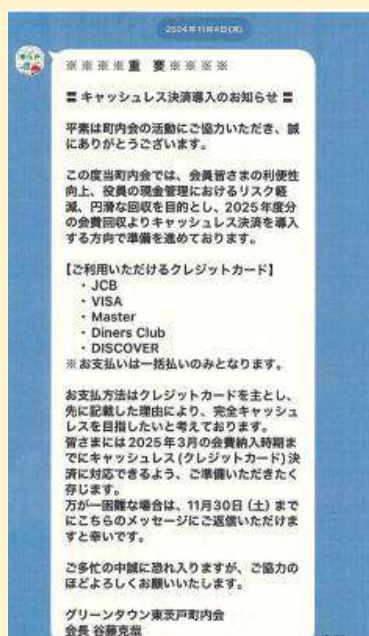
一度登録すれば、スマホアプリ上で会員の町内会費支払状況を簡単に管理できる点も便利です。

Q.実際どうやって使うんですか？

- A.①集金を担当する役員のスマホに無料のSquareアプリをインストールしてもらいます。
②各世帯を個別訪問します。
③スマホ画面を提示して、支払いをしていただきます。
当町内会では、この方法で運用していきます。

Q.デジタル化といえども結局、個別訪問は必要なんですか？

- A.このツールでは、URLリンクを送付して相手に決済手続きをしてもらう完全非対面決済も利用可能です。
当町内会でも検討しましたが、あえて導入しない判断をしました。
非対面の場合、利用手数料が約3.6%と、対面決済(2.5%)に比べて高額であることに加え、会費を年1回払いにしているため、**対面で会員と直接お話しできる場をむしろ大切にしたい**と考えたからです。



Q.会員の方にはどうやって説明を？

- A.回覧板としてLINE公式アカウントを導入しており、全世帯に登録していただいているため、会員全員にそこでお知らせしました！
決済時には「すごいね」と言って、好意的にお支払いいただけます。
クレジットカード決済を利用することで、現金を準備する手間が省けるほか、通常の買い物と同じようにポイントが付与されるため、支払う方にとって多少のお得感があるようです。

Q.反対されなかったのですか？

- A.ほとんど反対意見はありませんでした。
ただ、お一人から「決済手数料がかかるのであれば、現金でのやりとりの方が良いのでは」とのご意見をいただきましたが、金銭管理の負担やリスクなどについて説明したところ、ご納得いただけました。

Q.最後に、これを導入したいと思う町内会にひとこと

- A.ご高齢の方が多い場合、たしかに導入が難しい面もあるかもしれません。
それでも、**会員のライフスタイルに合わせた工夫をしていくことが重要**だと考えます。
慣れないことでも少しずつ進めていけば、「導入して良かった」と、将来必ず思える日はくるはずです！



※ マチモ応援大使HAMBURGER BOYSと
谷藤会長(R6 町内会啓発ラジオ出演時の写真)



令和6年10月から町内会アプリ 「ユミコム」の正式運用を開始！

町内会のデジタル化、1つのアプリで全部叶えました

手稲区ほしみ町内会 渡辺 稔文 会長



Q.どんな町内会ですか？

A. 約330世帯の町内会です。

ほしみ駅の開業に合わせて住宅分譲が始まり、平成8年に隣の町内会から分離・独立しました。当時は30～40代の若い世代が多かったのですが、それから30年が経ち、現在は60～70代が中心になっています。役員は輪番制で、家族向けのイベントをメインに開催しています。子どもが少なくなった今でも、夏の焼肉大会には約200人が集まります。

Q.町内会専用アプリを導入したと聞きましたが…

A. 「ユミコム (Yumicom)」というアプリを導入しました。

Q.なぜデジタル化を進めることにしたんですか？

A. 高齢化が進んできたことを受けて、令和2年に町内会に関する意識調査を実施しました。

「町内会をやめたい」という意見はほとんどなかった一方で、「役員の負担が大きい」「情報がうまく伝わらない」といった課題が多く寄せられました。今後も町内会を維持しながら負担を減らすためにはデジタル化が今、必要だと判断しました！

Q.なぜユミコムを選んだのですか？

A. 「デジタル化できることは、全部やっつけてしまおう！」という意気込みで、最初からひとつで全部そろえるアプリを探していました。複数のアプリを使い分けるのは、会員にも役員にも負担になりますからね…。その中で、1番機能が豊富で使い勝手もよかったのがユミコムでした。

Q.ユミコムでは、具体的に何ができますか？

A. ほとんどの町内会業務に対応しています。

たとえば電子回覧板、会員管理、LINEのようなメッセージ機能、会費のオンライン決済、行事カレンダーや出欠確認、高齢者の見守り機能、災害時の安否確認機能など、かなり多機能です！

Q.いつ導入したんですか？

A. 令和5年10月から1年間のトライアルを経て、令和6年10月から正式に運用開始しました！

Q.現在のアプリ導入率は？

A.約1年かけて、8割以上の世帯が導入しています。

Q.すごい普及率ですね。その理由は？

A.最初はやっぱり大変でした。

試験導入のお願いを3回回覧し、導入ガイドを2回全戸配布。さらに会員向けの説明会も6回開催し、初期登録をその場で一緒に行いました。
「8割以上に導入できれば、紙の回覧や会費集金を大幅に省力化できる!」という思いで、**かなり本気で取り組みました**(笑)

うちは役員が輪番制なので、「自分が楽になる仕組み」として、各家庭が自分ごとと受け止めてくれたのが大きかったと思います。

Q.ユミコムの利用経費はどのくらいですか？

A. 毎年の経費は、基本料金:約2万円(2千円×12ヶ月)と、世帯数に応じた利用料:1世帯あたり月40~90円×12ヶ月です。うちの町内会では、年間で約30万円弱かかります。ほか、導入初年度には初期設定費として10万円かかりましたが、【札幌市町内会デジタル活用促進補助金】を活用しました。

Q.令和5年下半期から、会費のオンライン収納も始めたそうですね？

A. はい。各会員がスマホで手続きできます。支払方法も4種類から選べます。

- ①クレジットカード決済(VISA・Masterなど)
- ②PayPay
- ③コンビニ決済(ローソン・ファミリーマート・セイコーマート)
- ④銀行振込

①②はスマホ上で即時決済、③④はスマホで支払方法を選ぶと会員情報と紐づき番号が発行され、レジやATMでの支払手順がメールで届きます。

集まった会費は、ユミコムから町内会口座にまとめて入金します(月末締め、翌月15日)。
支払状況はすぐに自動でリスト化され、未納者にはボタン1つでメッセージが送れます。

収納手数料は、

- ①②クレジットカード決済・PayPay:3.6%(税別)
- ③コンビニ決済:金額により、150~200円/件。5,000円超は4.5%(税別)
- ④銀行振込:1件あたり40円+振込手数料(会員負担)

会計作業が本当にラクになりました!

Q.最後に、導入を検討している町内会にひとこと

A. 大事なものは「初動」と「計画」です!

やる気だけでは難しく、しっかりとした周知・説明ができないと導入率が伸びず、結局は負担が増えてしまいます。うちでは令和7年度中に、スマホが使える世帯には完全にユミコムに移行してもらい、紙の回覧板と会費の集金は廃止する予定です。

「何を目的に」「何をデジタル化したいか」「どう進めるか」を明確にしてからスタートするのが、成功のカギだと思います!



※ 左から、内藤相談役(前会長)、渡辺会長とユミコム画面、宮川相談役(元副会長)

(参考) 自治会・町内会のデジタルツールまとめ

①自治会・町内会専用アプリ

ツール名	概要	費用	町内会の活用方法
①結ネット	- スマートフォンアプリ - 電子回覧板や情報発信ツールとして利用 - 災害時には安否確認システムとして活用	- 町内会 3,000～円/月 - 世帯 100円以下/月	- イベントの案内や参加確認、広報や資料を掲示板として共有できる。 - 災害時には連絡に対しての個別の既読確認ができる。
②eメッセージ回覧板	- 全国の自治体・学校で利用 - 会員にメールで配信	町内会 4,000～円/月	- 電子回覧板と紙の回覧板を併用して使っている。 - メリットは「緊急時の情報発信の速さ」や「好きな時に回覧板を見返せる」等の意見がある。
③Yumicom	- 電子回覧板や世帯管理などもできる - 電子決済機能も可能	- 基本料金+世帯ID数 300世帯で 28,600円/月	- パソコンやタブレットでも利用が可能。 - 回覧板機能とカレンダー機能を持っている。 - グループチャット機能がある。 - 文章や写真の保全ができる。

※上記のアプリの他にマ・メール、町内開帳など、複数の有料アプリがあります。

②自治会・町内会(加入世帯内)で活用が想定されるSNS

ツール名	概要	費用	活用方法
LINE グループ	身近な友だち向け・少人数での利用に適している	無料	役員間などでは使っている。(町内会全体は参加者が多くなり運営が難しい。)
LINE 公式 アカウント	登録者に一斉配信	月200通の 発信まで 無料 (それ以上は 有料5,000 円/月～)	- 登録者に管理者が情報を一斉に配信する - 登録者から管理者へ返信ができるが、他の登録者はそのやり取りを見ることができない。 - 閲覧しているかはチェックできない ※「月200通まで無料」に注意 たとえば登録者100人の町内会であれば、月2回の発信まで無料という数え方になります(100人×2回=200通)。写真も1カウントのため注意!
LINE オープン チャット	- 登録者に一斉配信大人数への情報発信に適している - ニックネームで参加できるのでプライバシーが守られる	無料 (5,000名 まで参加可 能)	- 上記のLINEグループが匿名になったもの - 会話はすべての登録者が見ることができる - 既読数が解る。 - リアクションのルールを誰が見たかわかる - ニックネームでの登録、無料で運用できることが、LINE公式アカウントと異なる
LINE WORKS	- 社内や取引先とのビジネスコミュニケーションツール - 少人数での利用に適している	30人まで 無料 (それ以上 は有料)	- 組織内でのコミュニケーション、情報共有に適している - LINE利用者でチャット形式でコミュニケーションが取れる - 既読者を把握できる - 最大200人まで参加可能なビデオ通話・音声通話
Band	- LINEのようにグループでのお知らせが可能 - 日程共有・出欠管理などの機能 - グループのコミュニケーションを効率化させる	無料	- 活動ごとにグループを複数作成可能 - 特定の人物にのみメッセージを送ることが可能 - 掲示板タイプなので過去の投稿も確認することが可能 - PTAなどで活用している事例がある

③自治会・町内会(未加入世帯も含む)で活用が想定されるSNS

ツール名	概要	費用	活用方法
Facebook ページ	町内会名などで作成し、ホームページの代わりとして活用できる	無料	- 写真と文章を掲載できる - 誰でも見られる 40代・50代・60代の利用者が多い - Instagramと連動している
Instagram	町内会名で作成	無料	- 写真と文章を掲載できるが、写真が主となる - 誰でも見られる 20代・30代・40代の利用者が多い

参考～LINEグループ、LINE公式アカウント、LINE WORKSの違い

		LINEグループ	LINE公式アカウント	LINE WORKS
特徴		双方向のやり取り	基本は配信型	双方向のやり取り
ユーザー管理		誰とでも自由につながる	管理者が操作可能	管理者が登録したメンバー
ユーザー登録方法		招待・交換	二次元コードなどから	専用のIDとパスワード
料金		無料	月200通まで：無料 月5,000通まで：5,000円/月 月30,000通まで：15,000円/月 ※「月200通まで無料」に注意 たとえば登録者100人の町内会で あれば、月2回の発信まで無料という 数え方になります(100人×2回＝ 200通)。写真も1カウントとなります。	【フリープラン】 ユーザー上限 30人 【スタンダード】 基本容量1TB 540円/月 【アドバンスド】 基本容量100TB 960円/月 ※非営利団体向けの特別プラン(上限1,000世帯)
参加人数		上限なし	上限なし	非営利団体プラン 1,000世帯
機能	招待制	○	×	○
	カレンダー	×	○	○
	配信	×	○	×
	連携機能	×	○	○

※LINE WORKSでは外部ツール(kintoneなど)との連携が可能となっています。



4つのSNSで情報発信！ 企業・団体と連携して関心を高める

SNSは町内会情報の蓄積にもなります

厚別区

シティアベニュー町内会

石田 義明 会長

Q.どのようなSNSを、どんな目的で使い分けているのですか？

A. 私たちは現在、Facebook、Instagram、LINE公式アカウント、YouTubeの4つのSNSを活用して町内会の情報発信を行っています。FacebookとInstagramは、町内会の取り組みを地域外にも広く知ってもらうための媒体として活用しており、行政や企業、大学など外部関係者との連携促進にもつながっています。Instagramは2つのアカウントを運用しており、1つは町内会活動の様子、もう1つは町内の自然環境を紹介するものです。写真を通して活動の雰囲気が直感的に伝わりやすく、若年層を含む幅広い世代に情報を届けられる点を重視しています。

YouTubeでは、行事やイベントの様子を動画で記録・配信し、町内会活動の雰囲気を視覚的に伝えています。

LINE公式アカウントは町内居住者向けの連絡手段として位置づけ、市からの広報物や日常的なお知らせをタイムリーに届けるほか、災害時の情報共有や安否確認にも活用しています。

Q.いつ、誰が投稿しているんですか？

A. デジタル化推進チーム内では、各SNSごとに担当者を明確に決めています。

イベント終了後には、原則として翌日中に投稿できるよう体制を整えています。投稿原稿の内容については、LINEを使って事前にチェック・共有を行っています。

Q.投稿内容はどのように作っているんですか？

A. 行事が終わった後、1~2日以内に内容を整理し、「町内会ニュース」として原稿を作成しています。完成した原稿は、マンション玄関の掲示板にポスター形式で掲示するとともに、Facebook、Instagram、LINE公式アカウントで同時に配信しています。一度作成した原稿を複数の媒体で活用できるため、効率的な情報発信が可能です。また、投稿に関するノウハウは、インターネット上の公開情報などを参考にしながら独学で習得しています。近年は生成AI(ChatGPTなど)も活用し、文章表現の工夫や画像編集、情報発信時の注意点などを随時学んでいます。



▲町内会ニュース

Q.投稿したデータはどのように管理しているんですか？

A. SNSに投稿した画像・映像・文章などのデータは、町内会内のサーバーにも保管しています。これにより、時間が経過しても必要に応じて再活用できるようにしています。これらの蓄積データは、今後さらに進展するIT社会において、町内会にとって大切な情報資産になると考えています。毎年4月に開催する定期総会では、事業報告の資料として活用しており、業務の省力化にもつながっています。

Q. SNSでの情報発信で難しかったことはありますか？

A. 住民の皆さんとの合意形成には慎重な対応が必要でした。そこで、町内会単独で進めるのではなく、札幌市の支援制度も活用しながら取り組みを進めています。まず、アドバイザー派遣制度を活用し、専門的な助言を取り入れながら運用しました。具体的には、デジタル化やSNS活用に関するアンケート調査を実施しました。

また、札幌市の「町内会デジタル活用促進補助金」を活用し、令和7年度には専用の高性能デジタルカメラを導入しました。これらの取り組みは、毎年定期総会で事業報告として正式に報告し、承認を得たうえで実施しています。また、写真掲載や個人情報の取り扱いには特に注意しており、「SNSに掲載する可能性があること」の事前に周知をしています。それに加えて掲載前の二重チェックや、個人情報取扱規程を整備した上での運用を徹底しています。

Q. SNSでの情報発信で工夫していることは？

A. 投稿時には、写真の「映え」や「見栄え」を特に重視しています。写真の印象は投稿全体の伝わり方に大きく影響するため、撮影や選定にはこだわっています。

また、文章は簡潔かつ分かりやすく、イベントに参加できなかった方にも内容が伝わるよう意識して作成しています。さらに、投稿するタイミングにも配慮し、できるだけ記憶が新しいうちに情報を発信することで、関心を持っていただけるよう工夫しています。



▲町内会ニュース
で1年を振り返る
(町内会YouTube)

◀町内会 Instagram

Q. SNSで情報を発信して、良い効果はありましたか？

A. 最近では、行政や地域企業、大学などと連携して事業を行う機会が増えています。そうした取り組みをSNSで発信することで、「企業や団体が地域に関わっている」という事実を、町内会の内外に広く知ってもらうことができました。これにより、地域への関心が高まり、新たな連携や協力のきっかけにもつながっています。

▼福祉関連団体連携した取組のようす



Q. 最後に、これからSNSを始める町内会にひとこと！

A. 最初は難しく感じるかもしれませんが、SNSは町内会の活動を見える形で伝える、とても便利な手段です。写真や簡潔な文章で投稿するだけでも、参加していない方々にも活動の雰囲気がしっかり伝わります。

LINE公式アカウントを使えば、紙の回覧板では伝わりにくかった情報も、住民の手元にタイムリーに届けられます。防災やイベントの連絡にも活用できて、とても助かっています。まずは、できる範囲で一つのSNSから始めてみるのがおすすめです。続けていくうちに、地域とのつながりが広がるのを実感できるはずです！



輪番制1年目、無理をしない デジタル化による町内会運営



輪番制で引継ぎを意識した
デジタル化を推進中！

西区

山の手第28町内会

畑 勇輔 会長
成戸 道明 副会長
芦名 雅 総務部長

Q.輪番制はいつ、どのように始まったのですか？

A. 今年度(令和7年度)からです。山の手町内会では、長年同じ方が会長を務めてきましたが、高齢化や負担の偏りが課題となり、輪番制へ移行しました。現在は会長・副会長・総務・会計の「四役」体制で、任期は町内会会則に基づき1年と定められています。

Q.輪番制になったことをきっかけに、どのような見直しを行いましたか？

A. 輪番制になったことで、「誰が役員になっても分かりやすく、無理なく運営できる町内会にしよう」と考えるようになりました。新しい役員が集まったことを機に、これまでの運営方法や情報の整理の仕方を見直しました。

紙の資料は、量が膨大で、引き継ぎ時に必要な資料が見つからないなどの課題があり、資料や情報の検索と共有がしやすい方法を考える必要がありました。また、新しい役員が全員子育て世代で、仕事もしているため、負担を軽減しないと運営が成り立たないと思いました。このことから思い切ってデジタル化を行うことにしました。

全108世帯にアンケートを取ったところ、紙回覧でなければ困ると回答したのは3世帯で、ほとんどがデジタル化に賛成という結果だったので、電子回覧を導入しました。輪番制でも続けやすい仕組みづくりとして、無理のない範囲で導入を進めています。

Q.どんなツールを使っているのですか？

A. 無料で使えるものだけです。主に以下を使っています。

- ・LINE公式アカウント: 電子回覧・緊急連絡
- ・Googleドライブ: 資料・回覧履歴の保存
- ・Googleカレンダー／Gmail: 日程・連絡の整理
- ・公式HP(Wixという無料ツールで作成)

LINEは無料プラン(月200通)で、月2回の配信に抑えています。

Googleカレンダーに入っているスケジュールを開くと、関連行事のファイルが閲覧できます。翌年引き継いだ役員が、過去のスケジュールから内容を確認し、何が行われているかわかるように工夫しています。

公式LINEとは別に
4役・班長グループ
LINEもあります。



Googleカレンダー上に
打ち合わせで使用した書類デ
ータを添付しています。

Q.紙の回覧は完全になくしたのですか？

A.いいえ、紙とデジタルの併用です。日常なお知らせや急ぎの連絡は電子化しましたが、除雪日程やゴミステーションの注意など、全世帯が必要と考えられ、また、役員としても伝えておきたい情報は紙で回覧しています。また、紙回覧を希望された3世帯については、共有のスペースに掲示した回覧物を確認していただく形で同意をいただきました。

紙で回覧した書面についても電子化はしてGoogleドライブに格納することによっていつでも見返せるようにしています。



Q.デジタル化して、効果を感じたのはどんなときですか？

A.除雪が地域にとって重要な課題ですが、デジタル化により除雪に関する連絡がスムーズになったと感じています。例えば、住民の皆さんからメールで「北一条の通りに雪山が多くて困っている」という問い合わせをもらい、すぐ土木センターに報告することができ、翌日には対応が完了するなど、一斉配信と迅速な対応が可能になりました。

これまで町内会からの情報は一方通行でしたが、メールアドレスを公開することで双方向のコミュニケーションが取れるようになりました。皆さんが気軽に質問や意見を送りやすくなり、声をより多く聞けるようになったという手応えを感じています。

Googleフォームを通して
役員に意見やお問い合わせ
を送信することができます。

Q.今後の課題や取り組んでみたいことはありますか？

A.LINEの登録者数については、導入した当初からさほど増えていません。目につく場所にLINEの登録用コードがあるような状況を作れると良いと思っています。登録用の二次元コードを貼り付けたマグネットを各戸に配布することも検討しています。

個人情報の管理については、法令違反のリスクを回避するため、改めて管理規則の明確化と運用体制の見直しが必要だと考えています。

輪番制において1年で交代となると、慣れた頃に退任となるため、前年度の役員が次の1年はオブザーバー的に関わるなど、支援体制の構築も視野に入れながら次年度以降の体制を整備していきたいと思っています。

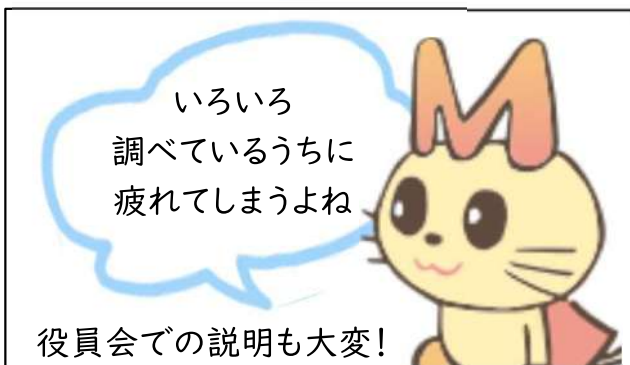
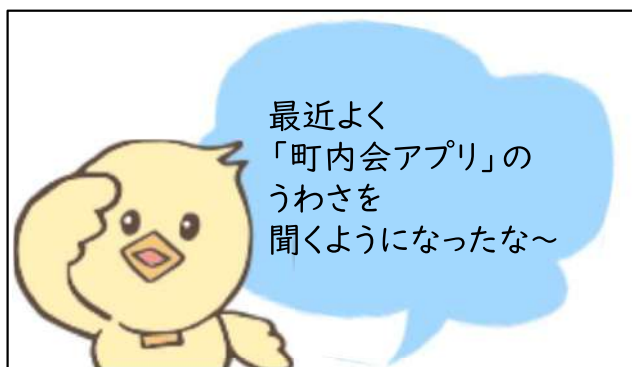
Q.これからデジタル化を考える町内会へ一言お願いします。

A.最初からうまくやろうとしなくていいと思います。無料ツールで十分ですし、紙を残しても構いません。大事なものは「役員の負担を減らすこと」と「続けられること」。私たちも試行錯誤の途中ですが、同じ悩みを持つ町内会の参考になればうれしいです。



付録

町内会向けアプリのご紹介



目次

早見表 1

Yumicom(ゆみこむ) 3

結ネット(ゆいねっと) 4

My自治会 5

A6HA(あろは) 6

デジ町町内会LINE 7

PayPay 8

本冊子は「町内会活動のヒント(町内会のデジタル化)」の一部(付録)です。

この度、札幌市との協定企業が提供する各アプリの情報を新しくまとめました。

対面でお話が聞けるような「説明会」の開催は、別途予定しております。

今後、企業が増えた際など、随時内容をホームページにて更新してまいります。



札幌市と協定を結んだ！ 町内会向けアプリ早見表！

スマホかパソコンが
あれば、導入可能！

	電子 回覧版	アンケート・ 出欠確認	オンライン 集金	行事 カレンダー	災害時	ほか
 Yumicom (ゆみこむ)	○	○	○	○	○	・トーク ・会員管理 ・投票 ・クーポン ・資料保管
 結ネット (ゆいねっと)	○	○	○	○	○	・施設予約 ・資料保管
 My自治会	○	○	○	—	—	
 A6HA (あろは)	○	○	○	○	○	・メッセージ ・クーポン ・会員管理
 デジ町 町内会 LINE	○	○	○	○	○	・住民登録 促進機能 ・引継ぎ 楽々機能
 PayPay	町内会費の集金、イベントでのお支払いに！					

札幌市の制度をご紹介します！

町内会デジタル活用促進補助金

円滑な情報共有、地域への積極的な情報発信のためなど、町内会のデジタル活用にかかる環境整備にかかる費用の一部を補助する制度です！

(上限10万円)

毎月かかるアプリ利用料は各町内会でご負担いただくことになりますが、パソコン購入等はもちろん、「アプリ初期費用」「(一時的な)講師謝礼」は事前の申請により補助対象となります。ぜひご活用ください。

※ 年度によって異なるので、ホームページを確認してください
＜札幌市ホームページ 町内会デジタル活用促進補助金＞



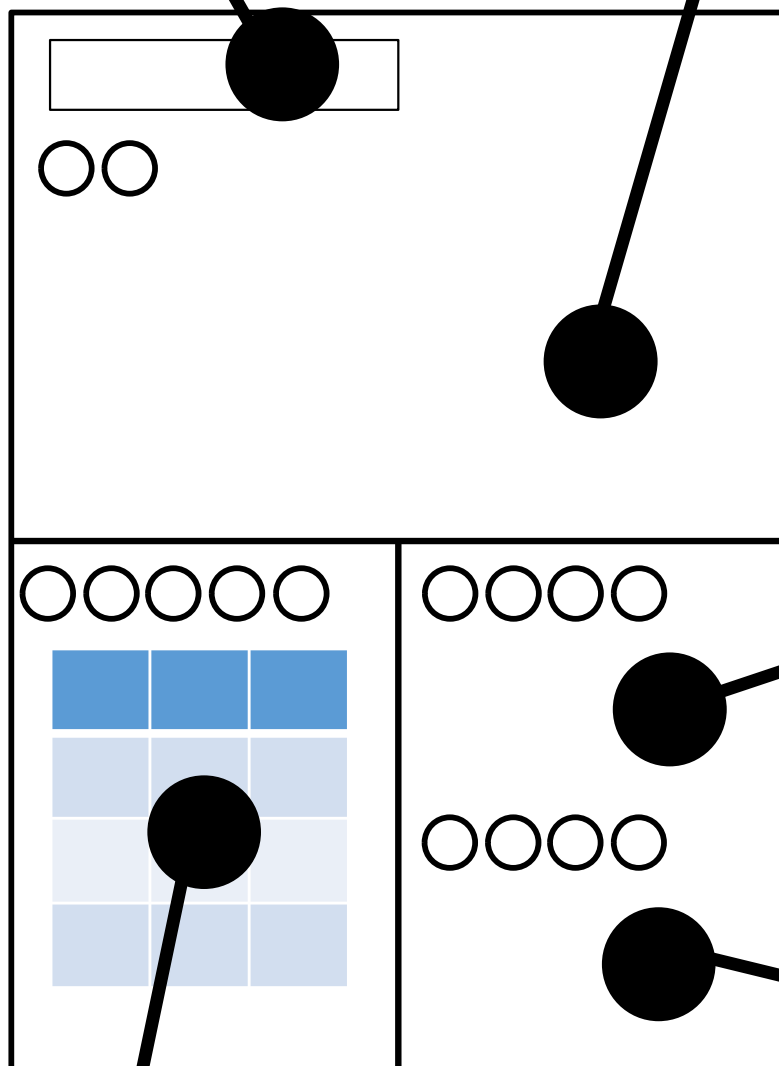
冊子の見方

町内会向けアプリ名

町内会向けアプリの名称を記載しています。

町内会向けアプリの機能

機能は多数ありますが
分かりやすいよう一部抜粋して
画面の写真とともに記載しています。



導入事例

札幌市内で
「町内会向けアプリ」を導入、
実際に活用されている
町内会の皆様から
一言をいただきました。

ご連絡先

「このアプリが気になる」
「もっと詳しく知りたい」等
の場合にお問い合わせ
いただける連絡先です。

町内会向けアプリの費用目安

「実際自分の町内会の規模なら
どの程度の費用になるか」の参考に
してください。

こちらには、札幌市と
連携協定を締結した
企業を掲載しています。

I. Yumicom (ゆみこむ)



Wanbel Woods



町内会運営の「したい」が「できる」！
オールインワンの町内会アプリ

札幌市連携協定企業



機能

PICK UP!

電子
回覧版

会員向けにすぐ配信ができます。
過去配信の見返しや検索も可能。
あらかじめ時間を指定して、配信予約が
できる機能も。

PICK UP!

いざという時の安心。
訓練にも使えます。

安否確認・
避難所
探索機能

PICK UP!

デジタル
納付

消込み管理機能で、
会計担当の負担が
大きく軽減できます。
(手数料別途)

PICK UP!

トーク

個人情報を
交換せずに
グループや
個人で連絡
が可能です。



費用の目安

※令和8年4月1日
現在【税込】

世帯数 (加入世帯数)	参考料金表(年額)
100名	初期費用 : 66,000円 固定費用※ : 48,400円 ※デジタル納付有: +1,210円
300名	初期費用 : 110,000円 固定費用※ : 151,250円 ※デジタル納付有: +2,420円
600名	初期費用 : 110,000円 固定費用※ : 290,400円 ※デジタル納付有: +3,630円
1,200名	初期費用 : 110,000円 固定費用※ : 580,800円 ※デジタル納付有: +7,260円

導入事例

令和8年4月1日現在、札幌市では2つの
町内会が導入済み。

うち1つ、「手稲区ほしみ町内会」の
インタビュー記事は
「町内会活動のヒント」
本編21ページへ！



ご相談先

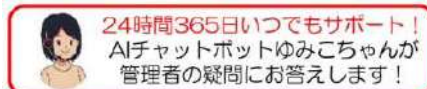
＜株式会社ワンベルウッズ＞
住所: 大阪府大阪市西区新町1丁目
6-23四ツ橋大川ビル 6F
電話番号: 06-6539-0110



WEBから▲

連携協定札幌市限定の特別単価適用(月額約40円)。

住民みんなで参加できる無料お試し期間5か月あり 付録 3



2. 結ネット(ゆいねっと)



ほくでん情報テクノロジー株式会社

札幌市連携協定企業



情報共有と運営負担軽減のために
機能を最適化! 町内会利用率は
国内No.1

機能

PICK UP!

電子
回覧版

連絡事項を一斉配信!
「役員」「会員全員」など
送り先を選択できます。

PICK UP!

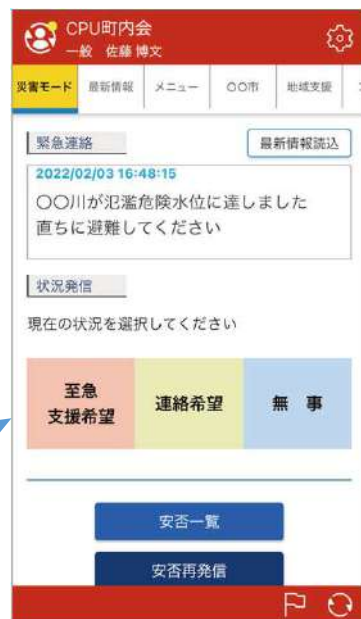
出欠
確認

イベントなどの
出欠回答が
簡単に。
参加促進にも
繋がります。

PICK UP!

安否
確認

災害モードでは
GPSによる
安否確認も
設定できます。



費用の目安

世帯数 アプリ登録者数	参考料金表(年額)
100名	初期費用 : 110,000円 固定費用※ : 52,800円 ※1人当たり528円(月額44円)
300名	初期費用 : 110,000円 固定費用※ : 132,000円 ※1人当たり440円(月額37円)
600名	初期費用 : 110,000円 固定費用※ : 264,000円 ※1人当たり440円(月額37円)
1,200名	初期費用 : 110,000円 固定費用※ : 528,000円 ※1人当たり440円(月額37円)

※令和8年4月1日 現在【税込】

(各町内会の役員向け) 無料のお試し期間3ヶ月あり

導入事例

令和8年4月1日現在、札幌市では
1つの町内会が導入済み。



手稲区前田第一町内会

役員によるトライアルを行い、コストも1世帯単位
の金額設定で、手軽に始めることができました。

ご相談先

販売代理店

<株式会社カンテック>

住所: 中) 北2条西3丁目1-2
THE VILLAGE SAPPORO
電話番号: 0157-31-8111
メール: ktc_eigy@kantec.ne.jp



<ほくでん情報テクノロジー株式会社>

住所: 中) 大通東3丁目4番 e・i大通東ビル
電話番号: 011-330-7612
メール: hit-yuinet@hokuden-it.co.jp



※販売代理店に関するお問い合わせ先
札幌市役所市民自治推進課(011-211-2253)

3. My自治会



主に「回覧板」と「集金」の機能に特化
感覚的に利用できるシンプルな構成

札幌市連携協定企業



機能



PICK UP!

集金

各戸に会費回収に
伺うことなく
支払・回収が可能。
(手数料別途)

PICK UP!

電子
回覧板

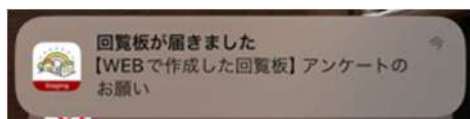
写真やPDF
を添付して
一斉配信！
アンケートもできます。



役員画面



会員画面



◀配信後、会員にはスマホに通知がすぐ届きます。

費用の目安

令和9年3月末までは年会費無料

※令和9年4月1日以降～の予定【税込】

世帯数 (アプリ登録者数)	参考料金表(年額)
100名	初期費用：なし 固定費用：10,000円
300名	初期費用：なし 固定費用：20,000円
600名	初期費用：なし 固定費用：30,000円
1,200名	初期費用：なし 固定費用：50,000円

集金機能利用時、別途手数料(集金額の5%)あり

導入事例

令和8年4月1日現在、札幌市では
2つの町内会が導入済み。



手稲区曙第22町内会

「回覧板の電子化」により、回覧の手間を減らしたと思ったことが、導入のきっかけでした。まず役員からはじめ、少しずつ会員の方のご登録も増えています。紙の回覧と比べ、情報が手元に残り見返することができ、便利です。総会の出欠で、アンケート機能も活用しました。

ご相談先

<大東建託株式会社>

住所：東京都港区港南 2-16-1

電話番号：03-6718-9068

メール：jichikai@kentaku.co.jp WEBから▲



4. A6HA(あろは)



あたらしいを、あたりまえに

J:COM



災害対策、使いやすさがおすすめ。
手厚いサポートもご用意しています！

札幌市連携協定企業



機能



PICK UP!

安否
確認

救助を求める住民の
位置情報を救助隊
に提供できる。
迅速な救助を実現！

PICK UP!

集金

町内会費、募金、イベント会費などの
集金、入金管理が徹底できる。
(別途手数料)



費用の目安

※令和8年4月1日
現在【税込】

世帯数 (アプリ登録者数)	参考料金表(年額)
100名	初期費用： 33,000円 固定費用： 120,000円
300名	初期費用： 33,000円 固定費用： 360,000円
600名	初期費用： 33,000円 固定費用： 720,000円
1,200名	初期費用： 33,000円 固定費用： 1,440,000円

お試し期間
3か月無償！

導入事例

—
(令和6年8月リリース)

ご相談先

<JCOMマーケティング株式会社>

札幌統括オフィス

住所:

北海道札幌市豊平区
月寒東2条18丁目7-20

電話番号:011-312-7416

出張サポート有
(2時間33,000円/回)~

5. デジ町 町内会LINE

デジ町
町内会
LINE



ANNIVERSARY
CONCIER

札幌市連携協定企業



いつものLINEで、町内会運営から、地域
防災まで。平時も有事もつながる町内会DX

機能



新しいアプリは必要なし /

LINEで友だち登録するだけ!



動画でわかる!
デジ町 町内会LINE

住民用・役員用メニューの機能や使い方を
YouTubeでわかりやすくご紹介!

▼YouTube動画を見る



デジタル回覧板

ラク!

LINEでプライバシーを守りながらリアルタイムに情報共有



キャッシュレス集金

ラク!

集金の負担を大幅に軽減、現金集金にも対応!



アンケート・出欠確認

ラク!

総会をはじめ、アンケート・出欠確認を簡単集計!



安否確認

ラク!

町内会のみんなの安否をGoogleマップで見える化!



PHASE FREE

デジ町 町内会LINEは
フェーズフリー認証取得サービスです

費用の目安

世帯数 (LINE契約数)	参考料金表(税別)
100世帯	初期:10万円、年額:4万円 (世帯当り:年額400円、月額33円)
300世帯	初期:10万円、年額:10万円 (世帯当り:年額333円、月額28円)
600世帯	初期:10万円、年額:19万円 (世帯当り:年額317円、月額26円)
1,200世帯	初期:10万円、年額:35万円 (世帯当り:年額292円、月額24円)

※上記は、札幌市との協定割引価格です。
※同一世帯内の家族利用は無料です。

導入事例

令和8年4月1日現在、札幌市では
導入済み町内会『ゼロ』なんです。



あなたの町内会が
『デジ町町内会LINE 札幌市第一号』に
なりませんか\(^_^)/

ご相談先

町内会LINE
▼公式サイト

<アニバーサリーコンシェル(株)>
(東京支店) 東京都千代田区有楽町1-2-2
東宝日比谷ビル9F
(高知本社) 高知県高知市仲田町2-11



お問い合わせ・無料トライアルは、こちらからどうぞ↑

6. PayPay



町内会費の集金場面やイベントに、
流行りのQRコード決済を活用できます！

札幌市連携協定企業



機能

自治会 町内会でも
「PayPay」が
導入可能に！

会費の集金

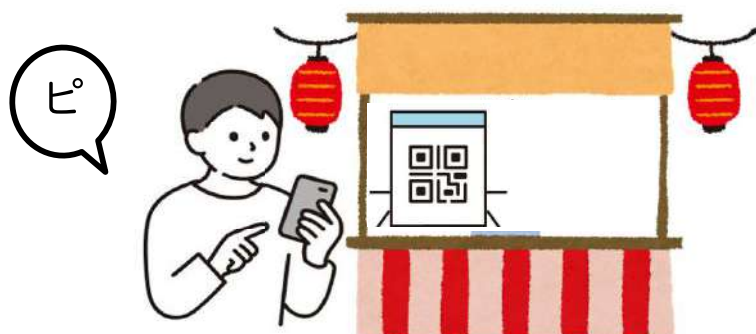
自治会によるイベント



PICK UP!

集金

対面で、町内会用に発行される
QRコード※を読み取ってもらいます。
手元に現金がなくてもお支払いが
可能です。
非接触なので衛生的、かつ、
現金をやりとりする負担を軽減
できます。



※「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です

費用の目安

※令和8年4月1日
現在

項目	参考料金表
導入経費	0円
月額固定費	0円
入金手数料	0円
決済システム 利用料	1.98%【税別】

導入事例

令和8年4月1日現在、札幌市では
1つの町内会が導入済み。



東区元町団地自治会

夏祭りでの支払方法の1つとして「PayPay」を
導入しました。来場者アンケートの中に、キャッ
シュレス決済のご要望があったことが、導入のき
っかけです。支払が手軽なので、若いご家族から
も大変好評でした。

ご相談先

<PayPay株式会社>

住所:

東京都千代田区紀尾井町1-3

メール:

shopinfo-sapporo@paypay-corp.co.jp



WEBから▲



町内会活動のヒント
町内会のデジタル化

令和7年(2025年)4月発行

令和8年(2026年)4月更新(26~29P、付録の追加)



さっぽろ市
05-D02-26-997
R8-5-14

SAPPORO

